

学会結果報告

第48回日本骨折治療学会学術集会

2022年6月24日(金)～25日(土)

パシフィコ横浜

ブースNo. 27

展示製品

Avansera	HYBRIX-P&D&U
寛骨臼球状骨切ノミ	前腕骨圧迫プレートIV
寛骨臼回転骨切ノミ	手外科手術器械セット
SPO骨切りノミ	

総評

今回開催されました第48回日本骨折治療学会学術集会では、コロナ状況が落ち着いてきている状況もあり、大変多くの皆様にお越しいただきました。誠にありがとうございました。
展示させていただいた各種インプラントや手術器具に、多くのご依頼や意見交換が行える大変貴重な機会となりました。

6月24日(金)には共催セミナーで、エンダー法セミナーに関して、座長を安藤先生、演者を高畑先生と小原先生に努めて頂きました。

ハンズオンの際には、指導医として、安藤先生、早川先生、中澤先生、高畑先生、松倉先生、鈴木先生にお努め頂きました。

結果、ハンズオン30名、聴講12名、当日追加聴講6名、合計48名の先生方にご参加いただき、盛大に開催することができました。

ハンズオンにご参加いただいた先生方が大変熱心に、興味深く取り組まれていたことが印象的でした。次回開催させていただく機会がありましたら、是非多くの方々にご参加いただければと思っております。

今後も、ミズホ株式会社をよろしくお願い申し上げます。



共催セミナー

6月24日(金) 13:30～15:30 4階 第12会場

ハンズオンセミナー2 エンダー法セミナー

座長	安藤謙一先生 (知多小嶋記念病院)
演題1	「こんな骨折にはEnder法！ - 標準的治療法を見直そう -」高畑智嗣先生 (西宮渡辺病院)
演題2	Ender法を用いた小児骨折治療 小原周先生 (横浜新都市脳神経外科病院)

ミズホブースまでお越しいただき、誠にありがとうございました。